

529ヘクタールの水源の森からのホットな情報発信

第102号

2012年3月

やどりき水源林ニュース

発行 (財) かながわトラスとみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会
220-0073 横浜市西区岡野2 12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内
045-412-2255 URL: <http://www.ktm.or.jp> E-mail: midori@ktm.or.jp

定例観察会のお知らせ(費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜の午前10時と午後1時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月・1月・2月)は安全確保のため休止します。

春は音(ね)のみ ?

今年の春のあゆみは一進一退。三月の「ひな祭り」の日に水源林を訪ねてみました。

この日は3日前に降った雪が残り、春はいずこ。

ひっそりと静まりかえる水源林に聞こえてくるのは、しずかに流れる溪流の音とミソサザイやシジュウカラなどの鳥の鳴き声、それと耳を澄まさないと分からないヤマアカガエルの声ばかり。

それでも、確実に着実に、自然は春を迎えようとしています。



水源の森の入り口の寄大橋。対岸には雪が残ってます



「成長の森」。ここにも、雪が。



例年なら開花してもおかしくないこの時期に、ミツマタの蕾と冬芽が雪に映えます

動物たちの春の息吹



ヒトの足跡の隣には、こんな足跡も。
どんな生き物？



雨に濡れたクモの巣



林道コースの脇の水溜りには、ヤマアカガエルの卵塊が春を待ってます

植物たちの春の息吹



まだ、花が残るジュウガツザクラ



クロモジの冬芽



ホオノキの冬芽(葉芽)



フデリンドウの蕾

3月のトピックス

まだまだ寒さが厳しい水源林ですが、冬芽の膨らみ(クロモジ、アブラチャン、ダンコウバイなど)やミツマタの蕾をルーペを使って、じっくり観察してみたいかがでしょうか。



ミツマタの蕾

4月の水源林

いよいよ春の訪れです。毎週土曜、日曜の定例観察会も3月から再開しました。水源林の動植物が活発に活動を始める様子が見られます。多くの方の参加をお待ちしています。未だ肌寒い日が多いので服装は暖かくしてお出かけください。



ヤマアカガエルのオタマジャクシ